

超低汚染 水性2液形シリコン樹脂系塗料

# パワーオーデフレッシュSi

つや有り・7分つや有り・5分つや有り・3分つや有り・つや消し

超低汚染 水性2液形フッ素樹脂塗料

# パワーオーデフレッシュF

つや有り・7分つや有り・5分つや有り・3分つや有り・つや消し



# POWER O-DE FRESH



その美しさを  
いつまでも



# パワーオーデフレッシュシリーズ

## 〈超低汚染の最高峰〉<sup>(\*)</sup> 持続する潤い効果で、 長期にわたり『美しい肌』を維持

(\*) 2016年10月現在当社比

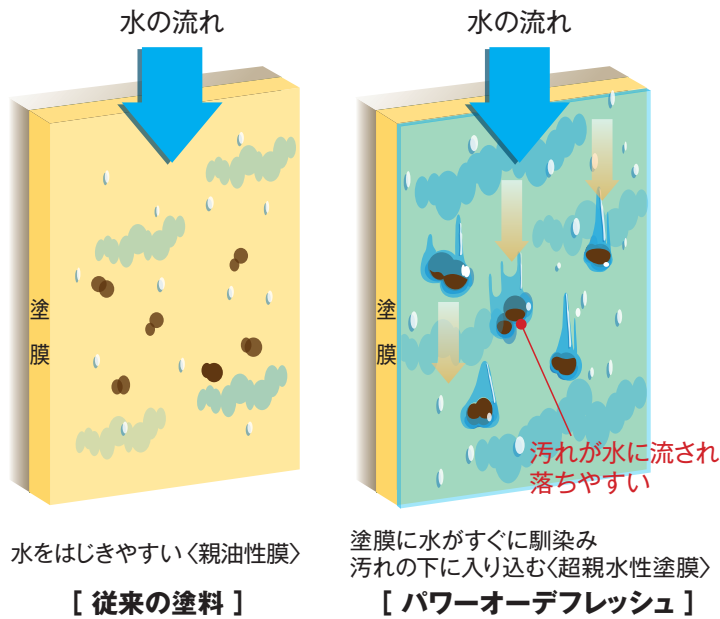
### 特長

外壁面の汚染を抑制するには、塗膜表面を親水化し、水に濡れやすくすることが最も有効です。「パワーオーデフレッシュシリーズ」では、塗膜表面の親水化を追求、長期に渡る塗膜表面の潤い効果で、非常に高いレベルでの超低汚染性を発揮します。

### ① 超低汚染性

「パワーオーデフレッシュシリーズ」では、特殊低汚染化成分を配合することで、従来の塗料に比べ、非常に高いレベルでの親水性を発揮します。さらに、塗膜表面が低帯電性の緻密な塗膜であることから、汚染物質が定着しにくい塗膜構造としています。

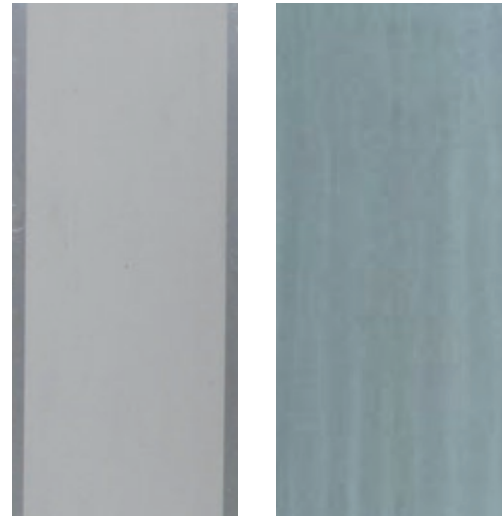
#### ■ 汚染抑制のメカニズム



#### ■ 雨だれ汚染暴露試験 12ヶ月経過後

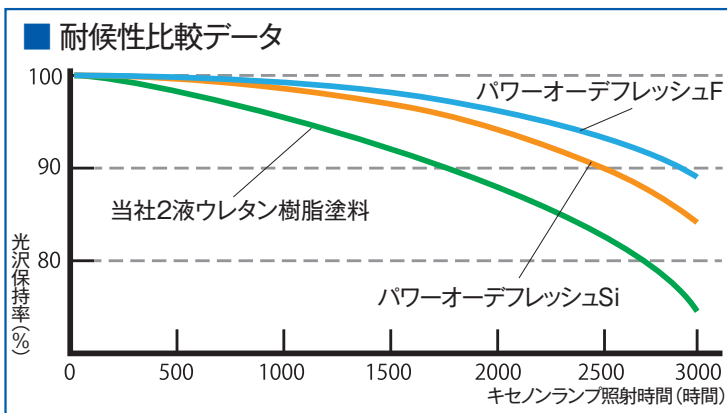
パワーオーデフレッシュ

当社一般水性  
低汚染塗料



### ② 高耐候

緻密で強固に結合した分子構造の働きで、外壁塗膜の劣化を最小限におさえ、高い耐候性を発揮します。



### ④ 強力防藻・防かび機能

当社標準の防藻・防かび効果と比較し、優れた繁殖抑制機能を発揮し、微生物による塗膜汚染も抑制します。

\*当社従来比において、ワンランク上の防藻・防かび機能となります。

	防藻・防かび機能なし	当社標準防藻・防かび機能	強力防藻・防かび機能パワーオーデフレッシュ
防藻性能			
防かび性能			

\*通常実施する試験時間の3倍の試験時間で実施

### ③ 塗装仕様のバリエーション

～ 超低汚染性能と弾性仕様

「超低汚染性能」と「微弾性／弾性仕様」を両立、各種弾性主材の上塗りとして適用できます。「超低汚染性能」が汚れにくい塗膜を形成し、「弾性仕様」が防水機能・コンクリートの中性化抑制機能を発揮し、お住まいをより長く、美しく保つことを可能にします。

### ⑤ 水性

臭気・VOC(揮発性有機化合物)の発生を低く抑えることができるので、塗り替えに最適です。

## 用途

- 集合住宅・マンション ●戸建住宅 ●教育・保育施設 ●介護・福祉施設 ●公共施設 ●商業施設・店舗 ●オフィスビル
- 工場・倉庫 などの外壁塗装

## 適用下地

- 改修面の各種旧塗膜(アクリルリシン・吹付けタイル、その他旧塗膜)
- 新設面の各種素材(現場打ちコンクリート、モルタル、ALCパネル など)

## 製品体系

工程	製品名	色相	つや	容量	希釈剤	希釈率(%)	使用量	塗り面積/ 毎当り/1工程	塗装方法	ポットライフ (23℃)
専用中塗り材	オーデフレッシュ共通中塗	各色(注1)	つや有り	15kg						—
上塗り材	パワーオーデフレッシュSi	各色	つや有り 7分つや有り 5分つや有り 3分つや有り つや消し	15kgセット (塗料液14kg・硬化剤1kg) 塗料液・硬化剤=14:1(重量比)	水道水	5~10	0.14~0.17	88~ 107㎡	はけ ウールローラー エアレススプレー	6時間
	パワーオーデフレッシュF		6時間							

・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定器・測定方法により増減します。  
 ・上記の使用量は、標準的の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。  
 (注1)上塗り材と専用中塗り材では、耐候性・低汚染性などに差があります。上塗り材との区別のため、中塗り材の色相は、上塗りのご指定色に対してわずかに淡彩側にずらした共色にて出荷いたします。

## ポットライフ・乾燥時間

上塗り材	ポットライフ(23℃)	注
パワーオーデフレッシュSi	6時間	・2液形塗料のため、混合時の攪拌は十分に実施してください。少量取分けて混合する際には、適性な混合比にて重さを計量した上で、混合してください。 ・混合後6時間を経過した段階から徐々に低汚染性が低下していきます。 6時間以内で使い切れる範囲にて混合、施工して頂くようお願い致します。
パワーオーデフレッシュF	6時間	

上塗り材	5~10℃	23℃	30℃
指触乾燥	2時間	1時間	20分
塗り重ね乾燥	8時間以上	3時間以上	2時間以上

専用中塗り材	5~10℃	23℃	30℃
指触乾燥	40分	15分	10分
塗り重ね乾燥	8時間以上	3時間以上	2時間以上

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

## 主な適用下塗り塗料

ニッペ パーフェクトフィラー
ニッペ パーフェクトサーフ
ニッペ ファイン浸透シーラー
ニッペ DANフィラーリフレックス
ニッペ DANフィラーエポ
ニッペ アンダーフィラー弾性エクセル

## 適用主材

ニッペ タイルラック1液EPO-Sベース
ニッペ タイルラックEMA-Sベース100K
ニッペ DANタイル中塗
ニッペ DANフィラーエポS

## 標準塗装仕様 (塗り替え:可とう形改修塗材RE・防水形複層塗材REを下塗りに選定した仕様例)

微弾性仕様	工程	製品名	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
	下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺部分を含めて入念に除去する。ごみ、砂じん、油分などの付着物をワイヤーブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	ニッペ DANフィラーリフレックス	平滑	1	0.30~0.60	4時間以上	水道水	3~6	ウールローラー
		なみがた		0.80~1.30				0~3
シリコン	中塗り	オーデフレッシュ共通中塗	1	0.14~0.17	3時間以上	水道水	5~10	ウールローラー
	上塗り	パワーオーデフレッシュSi		—				エアレススプレー
フッ素	中塗り	オーデフレッシュ共通中塗	1	0.14~0.17	3時間以上	水道水	5~10	ウールローラー
	上塗り	パワーオーデフレッシュF		—				エアレススプレー

弾性仕様	工程	製品名	塗り回数	使用量(kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
	下地調整	活膜を残し、膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺部分を含めて入念に除去する。ごみ、砂じん、油分などの付着物をワイヤーブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り1	ニッペ DANフィラーエポ	1	0.80~1.30	4時間以上	水道水	0~3	砂骨ローラー	
下塗り2	ニッペ DANフィラーエポ	1	0.80~1.30	16時間以上	水道水	0~3	砂骨ローラー	
シリコン	中塗り	オーデフレッシュ共通中塗	1	0.14~0.17	3時間以上	水道水	5~10	ウールローラー
	上塗り	パワーオーデフレッシュSi(注2)		—				エアレススプレー
フッ素	中塗り	オーデフレッシュ共通中塗	1	0.14~0.17	3時間以上	水道水	5~10	ウールローラー
	上塗り	パワーオーデフレッシュF(注2)		—				エアレススプレー

(注2)つや消し塗料は、[DANフィラーエポ]の上塗りとしては適用できません。7分つや有り・5分つや有り・3分つや有り塗料の適用は可能です。



**施工上の注意事項** 詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください。

- ①中塗りは必ずオーデフレッシュ共通中塗をご使用ください。
- ②塗料液と硬化剤を混合後の塗料については、必ず使い切るようにしてください。
- ③塗料液と硬化剤の反応に伴い、炭酸ガス(CO2)が発生します。混合後の塗料を密閉容器に保管します。炭酸ガスにより、容器内の圧力が高まることから、密閉容器への保管は避けてください。特に高温になる環境(夏場・車内等)では炭酸ガスの発生が促進し、ふたが飛び等のおそれがあることから、絶対に避けてください。
- ④つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- ⑤つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通して塗装してください。
- ⑥過剰希釈をすと本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- ⑦つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
- ⑧つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。
- ⑨防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- ⑩被塗物の構造、部位、塗装仕上がり形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。
- ⑪塗装面を部分補修する際には、硬化剤の入れ忘れにご注意ください。汚染むら発生の原因になります。
- ⑫絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- ⑬塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風の無い場合には、膜れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭き除去してください。
- ⑭色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- ⑮乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤は拭かず、せっけん水で洗浄してください。
- ⑯スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業効率の低下および塗りむらの原因になります。
- ⑰乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
- ⑱反応硬化タイプの塗料のため、使用後ははけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
- ⑲動物のはけは、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- ⑳日塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- ㉑既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- ㉒風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
- ㉓塗り替え時のシーラーは、ウルトラシーラーⅢまたは水性カチオンシーラーをご使用ください。溶剤系シーラーのご使用は、日塗膜の種類によっては溶剤膜れを発生させることがあります。
- ㉔シーリングの上、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- ㉕タイル面の洗浄に使用する薬剤が塗装面に付着すると、変色や早期劣化などを生じることがありますので、この様な場合には薬剤が付着しない様に塗膜面の養生を行ってください。
- ㉖素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科学社製HI500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- ㉗表面のごみ、ほこり、エプロレッセンス、レイトンなどは除去し、目隠し、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ㉘ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ1材カチオンフィラー、ニッペフィラー200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)
- ㉙内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
- ㉚素材にセメント成分などが使われている場合は、エプロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
- ㉛新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- ㉜塗装直後から頻りに人が触れるようなドアの一部や手すりなどでは、油脂の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護プレートなどで接触防止を行ってください。
- ㉝塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ㉞塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりが作業性が低下することがあります。
- ㉟屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ㊱塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- ㊲塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- ㊳飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- ㊴シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- ㊵笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膜れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- ㊶薄めすぎは隠れひ不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- ㊷上塗り1回仕上げですので原則的に中塗りは共色で塗装してください。特に牙たイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は必ず中塗りを共色塗装してください。
- ㊸調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- ㊹濃彩色や牙た原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により通常接触するような箇所を使用する場合は、ファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装してください。クリヤーのローラー及び刷毛塗装で、下塗り塗膜の再溶解や滲みが発生する場合には、スプレー塗装をしてください。
- ㊺大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- ㊻はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ㊼ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが見えやすくなります。
- ㊽塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りはできる限り入り開で入れてください。
- ㊾汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ㊿ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- ①可塑剤が多く含まれる塩化ビニル鋼板、塩化ビニルネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩化ビニルなどの直接塗装は避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- ②平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
- ③塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈んでいる場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
- ④開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- ⑤開封後は皮張りしやすいため、表面にうす希釈剤を張り、ふたをしておくと、皮張りを遅くすることができます。
- ⑥大気中の浮遊鉄成分が多い地域では、この鉄成分が塗膜表面に付着し、塗膜が赤褐色に変色したように見える場合があります。
- ⑦塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- ⑧製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
- ⑨主剤と硬化剤の混合は必ず均一に行い、また割合は必ず守ってください。混合状態が不均一な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりが作業性が低下することがあります。

**安全衛生上の注意事項(パワーオーデフレッシュSi ホワイト パワーオーデフレッシュSi 硬化剤) 横倒禁止**

パワーオーデフレッシュSi ホワイト塗料液	パワーオーデフレッシュSi 硬化剤	皮膚刺激を生じた場合:医師の診断/手当てを受けてください。 眼の刺激が続く場合は:医師の診断/手当てを受けてください。 汚染された衣類を脱いで、再使用する場合は洗濯してください。 火災の場合:消火に適切な手段を使用してください。 保管:施設して保管してください。 換気の良い場所で保管してください。涼しいところにおいてください。 直射日光や水濡れは厳禁です。 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にはく露しないでください。 内容物/容器を缶/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。 容器はつり上げないでください。やむを得ずつり上げる際には、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本来の用途以外に使用しないでください。</li> <li>・使用前に取扱説明書を手入手してください。</li> <li>・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。</li> <li>・取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。</li> <li>・必要な時は、環境への放出を避けてください。</li> <li>・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください。</li> <li>・口をすずめてください。</li> <li>・容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。</li> <li>・吸入した場合:気分が悪い時は、医師に連絡してください。</li> <li>・吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。</li> <li>・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。</li> <li>・ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けてください。</li> <li>・眼の刺激が続く場合は:医師の診断/手当てを受けてください。</li> <li>・施設して保管してください。</li> <li>・直射日光や水濡れは厳禁です。</li> <li>・塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。</li> <li>・日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にはく露しないでください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用前に取扱説明書を手入手してください。</li> <li>・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。</li> <li>・熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。-禁煙です。</li> <li>・容器を密閉しておいてください。</li> <li>・容器を接地/アースをとってください。</li> <li>・防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。</li> <li>・火花を発生させない工具を使用してください。</li> <li>・静電気放電に対する予防措置を講じてください。</li> <li>・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。</li> <li>・取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。</li> <li>・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。</li> <li>・必要な時以外は、環境への放出を避けてください。</li> <li>・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください。</li> <li>・気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けてください。</li> <li>・緊急の特別な処置が必要な場合は実施してください。</li> <li>・口をすずめてください。</li> <li>・容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。</li> <li>・皮膚または髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱いでください。</li> <li>・皮膚を流水がシャワーで洗ってください。</li> <li>・吸入した場合:気分が悪い時は、医師に連絡してください。</li> <li>・吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。</li> <li>・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。</li> <li>・ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・換気の良い場所を確保してください。</li> <li>・換気の良い場所を確保してください。涼しいところにおいてください。</li> <li>・直射日光や水濡れは厳禁です。</li> <li>・塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。</li> <li>・日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にはく露しないでください。</li> <li>・内容物/容器を缶/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。</li> <li>・容器はつり上げないでください。やむを得ずつり上げる際には、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)</li> <li>・塗料、塗料容器、塗料具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗料具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。</li> <li>*上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。</li> <li>■詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。</li> <li>■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。</li> </ul>

危険		危険有害性情報	強い眼刺激/遺伝性疾患のおそれ/水生生物に有害/長期継続的影響によって水生生物に有害
----	--	---------	--

**日本ペイント株式会社**

- |                        |                     |
|------------------------|---------------------|
| 北海道支店 ☎ 011-370-3101   | 近畿支店 ☎ 06-6455-9608 |
| 東北支店 ☎ 022-232-6712    | 西蔵支店 ☎ 082-281-2180 |
| 関東支店 ☎ 03-5479-3614    | 四国支店 ☎ 0877-56-2346 |
| 北関東信越支店 ☎ 03-5479-3614 | 九州支店 ☎ 092-751-9861 |
| 中部支店 ☎ 052-461-1960    |                     |

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2018 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.  
**NP-W040**

AA180610T  
2018年6月現在